

2026-2027
週 報



RI会長 オラインカ・ハキーム・ババロラ
RIテーマ 持続可能なインパクトを生み出そう
地区ガバナー 原島 生慈
地区スローガン ロータリー活動に誇りを！

CREATE
LASTING
IMPACT

国際ロータリー
第2570地区
第3グループ西

狭山中央ロータリークラブ

会長 渡邊高治 会長エレクト 小島美恵子 副会長 沼崎正徳 幹事 小林奈保絵

事務所 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48

TEL : 04-2952-2277 FAX : 04-2952-2366

E-mail : schuohrc@p1.s-cat.ne.jp HP : <https://www.schuohrc.org>

例会場 ニックス 〒350-1305 狭山市入間川 4-25-3 TEL : 04-2954-9595



【第3グループ例会日】 西：入間市 飯能市 日高市 新狭山町 入間市 狭山中央 東：所沢市 新所沢市 所沢市 所沢市

第1445回（7月10日）例会の記録

点 鐘 会長 渡邊高治
斉 唱 四つのテスト
第2副SAA 栗原成実・宮岡宏太郎
出席報告 出席向上委員長 寶積英彦

会員数	出席者数	出席率(実質)
18名	16名	88.89%

会長の時間

渡邊 高治 会長



『国道16号の歴史』

東京工業大学 柳瀬博一教授の「国道16号線」より

埼玉など4都県、27市町を環状に結ぶ国道16号（総延長330キロ）の歴史を独自の視点で描いた書

籍「国道16号線『日本』を創った道」が注目されています。著者の柳瀬教授は、日本の政治、経済、文化に多大な影響を与えた国道16号を通じて、「多くの音楽作品を生み、最先端の治水施設も備える埼玉の魅力をもつめる機会になればと思います」と。

歌手の松任谷由実が2006年に発表した、国道16号を舞台に失恋を描いた名曲「哀しみのルート16」のように、県内区間をドライブ風に表現した歌があります。

東京都瑞穂町から入間市、狭山市、川越市を通った後、荒川を渡り、さいたま、上尾両市の大宮台地をへて、洪水を防ぐ目的で2006年に完成した「首都圏外郭放水路」がある春日部市から江戸川の対岸・千葉県野田市へ。4都県の沿線人口は1180万人にのぼり、「三井アウトレットパーク入間」（入間市）など商業施設が充実しています。又、16号線沿いの食事処の食べ歩きテレビ番組が度々放映される機会が増えています。

国道16号エリアの「山と谷と湿原と水辺がセットになった小流域」を活用し、集落や産業を生んだと思われます。旧石器時代の「諏訪坂貝塚」（上尾市）が大宮台地で発掘され、1911年に所沢陸軍飛行場（所沢市）が武蔵野台地に出来たことも紹介しています。

基地の文化や生糸産業などを背景に創作を進めた音楽家も多く、1973年に音楽家・細野晴臣が狭山市の米軍ハウスで初のソロアルバムを制作したことも有名です。



柳瀬教授は、映画「翔んで埼玉」が描いた「ダサイタマ」のイメージは、徳川家康が江戸城に入ってから首都圏が発達したという「江戸中心主義の幻想」から来るもので、高校の日本史の教科書は鎌倉を除き、江戸以前の関東の歴史にあまり触れていないと指摘。

室町時代の1457年、鎌倉などを拠点とする扇谷上杉氏に仕えた太田道灌が江戸城とともに水運に恵まれた河越城(川越市)、岩槻城(さいたま市)を築いたとされています。

柳瀬教授自身は、大学生の頃から「小網代の森」(神奈川県三浦市)の自然調査で16号になじみがあり、約20年前に研究を始め、「今後も国道16号を巡る冒険を続け、古い地層が残る秩父など荒川流域の歴史についても調査したい」と考えているそうです。

【埼玉県域の変遷】

埼玉県と入間県
(明治4年11月)



埼玉県と熊谷県
(明治6年6月)



埼玉県
(明治9年8月)



今後も埼玉県に関する話題が見つかりましたらご紹介させていただきます。

幹事報告

幹事 小林奈保絵

報告

・理事会で8・9月のプログラム承認

回覧

- ・地区事務所より「ロータリー・リーダーシップ研究会 Part Iのご案内」
- ・新所沢RCより「例会場変更のご案内」
- ・ロータリー文庫からのお願い
- ・青少年を育てる狭山市民会議より「青少年健全育成大会のご案内」「絆・ふれあいポスター作品の募集のお願い」「令和8年度青少年を育てる狭山市民会議第2回理事会次第」

委員会報告

■「ロータリーの友7月号」の紹介

R情報・雑誌委員長 高田虎光

【横組み】



2026-27年度ガバナー紹介

ガバナーの横顔…………… P18-35



【縦組み】

SPEECH

信じて行動すれば夢はかなう

白石康次郎…………… P2-6

この人 訪ねて

亀井和彦さん 可児RC…………… P7-10

・・・クラブ協議会・・・

■役員・委員長就任挨拶■

副会長 沼崎正徳



副会長を仰せつかった沼崎です。
去年も副会長をやらせてもらって、去年一生懸命話してしまいましたので、今年は何をしゃべっていいかわかりません。
でも、言えることがたった一つあります。会長の補佐をやらせていただくこと。皆さんのお手元にあるかどうかわかりませんが、家に帰れば必ずある年度計画書の中の細則に、副会長の役が書いてあります。会長がいないときに会長の役を代行せよと。会長がずっといてくれれば代行の必要はありません。
よろしくお願いいたします。

クラブ管理運営・親睦活動委員長 柴田譲



今、副会長がおっしゃったこの年度計画書の40ページに、委員会組織図があります。私が今回仰せつかったクラブ管理運営は、親睦活動、出席向上、それからプログラムというのがラインに入っています。
私がこのクラブに入ったのは、創立から4年目の1996年、守屋先生が会長で宮岡さんが幹事の時でした。そしてその7年後、小澤泰衛さんが会長になられた時に、私はその幹事を仰せつかりました。その時に、クラブの一年間の運営のあり方につい

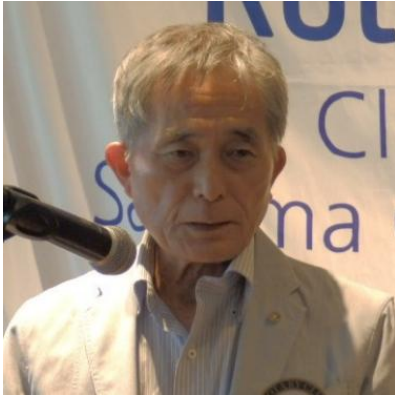
て、会長・幹事・SAA・プログラム・親睦活動の5人がしっかりしなければダメなんだと小澤会長に教えられました。
今年度会長の渡邊さん、幹事の小林さん、そして重要な役割であるSAAの小田さん、プログラムの田端さん、親睦活動の私で、色々な意味で馴染みよくしていきたいと思います。
会長が言っておられた、「穏やかに、明るく、楽しく」。そして、私はそれに「元気に」を付け加えて、この一年間運営していく上での指針にしたいと思っております。今申し上げた役割を担っている方々が、一緒になって前に向かって進んでいけば、このクラブの活性化につながるだろうと思っております。私は親睦の立場で支えていくつもりでありますので、どうか皆さんの協力をよろしくお願いいたします。

プログラム委員長 田端都女子



昨年度プログラム委員長を仰せつかってやらせていただきました。人数がいないので、やはり早くお役が回ってくるということで、今年度も渡邊会長からお願いされて引き受けたわけです。
年間20数名の方に卓話をお願いするカタチになると思っております。そして、できるだけロータリーに入会できるような方をお願いしたいと考えてはおりますが、卓話に来ていただいて、その後なかなか連絡を取っていなかったことが昨年度の状況だったと感じております。
この場に立ってロータリーを見ていただくわけですから、今年度は、次に繋がるようにしていきたいと思っております。
そして、会長の、楽しく明るくというテーマにかなうようなカタチでやっていきたいと思っておりますので、是非ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

クラブ公共イメージ委員長 栗原成実



私は、クラブの公共イメージをアップし、ロータリーアン以外の人たちにも、ロータリーって何をしているのかを広める仕事になると思います。メディアに取り上げてもらうような行事をしていただければ、ロータリーというものが理解していただけるのかなと思っています。子ども食堂の支援、フリーマーケットの参加、そういうものを中心にしながら、ロータリークラブを一般市民の方々に紹介し、理解していただきたいと考えております。各委員会と協力をして、この仕事を進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

奉仕プロジェクト・職業奉仕委員長 宮岡宏太郎



私は、3年連続で委員長をやらせてもらいましたが、「何もやらない委員長」が定着してしまったようでございます。まあそれは冗談ですが…。奉仕プロジェクトには四つの委員会がございまして、職業奉仕、それから社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕があります。やろうと思えば色々なことがあると思いますが、だんだんと会員が少なくなって、改めて新規の事業を計画するだけの勢いというか体力がなくなっていると感じています。しかし3年もやらないと、「何にもやらない」という烙印を押されてしまいますので、4つの委員長とも相談して、小さなことでもいいので何か一つ、地域社会や市民に訴えられるような新しい事業

を計画できればと思っています。
どうぞよろしくお願いいたします。

青少年奉仕委員長 稲見淳



今年は青少年奉仕委員長をさせていただきます。これは過去に1回やったことがあるのですが、やるのが何もなく、ちょうど私によいと、あてがってくれたのだと思っています。私も渡邊会長と同じく今年75歳で、後期高齢者の認知機能検査を受検しました。私は事前にYouTubeで徹底的に勉強していきました。16問出ます。前の晩にほとんど暗記しました。なぜかという、最近物忘れがひどいので万が一落ちたらどうしようと思い、対策して行きました。今回はこれでバッチリ通りましたが、この次はちょっと危ないと思っています。以上、よろしくお願いいたします。

出席向上・米山記念奨学会委員長 寶積英彦



私は本年度2つの委員会を任せられています。一つは出席向上、もう一つは米山記念奨学会でございます。本年度の年度計画書に趣旨は記しましたが、少しかいつまんで解説をさせていただければと思います。その前に、今日お話をさせていただくにあたって、2026～27年度のオンラインカ・ハキーム・ババロラ会長のメッセージからキーワードをつまんで説明をさせていただければと思います。『持続可能なインパクトを生み出そう』という言

葉が挙げられています。これは非常に難しく、おそらく英語から訳したものだと思いますが、メッセージの中で印象的なのは、“変化”と“インパクト”は違う言葉であると記してある点です。私たちのクラブにも変化が必要です。変化というのはきっかけに過ぎないという表現をしています。そして、インパクトというのは未来に残る結果というふうに定義をしています。要するに、変化・きっかけというものと、インパクト・未来に残る結果は大きく違うと定義しています。“未来に残る結果”とはとても良い言葉ですね。感銘を受けました。

そして、私たち2570地区の原島生慈ガバナーのキーワードに、“誇り”を挙げておりました。“誇り”を辞書で引くと、「価値や尊厳を感じ、それを大切に思う気持ち」と表現されています。これもとても大切なキーワードだと思います。

英語にするとプライドという言葉になるのですが、日本人がプライドという言葉を読すと、ある種の傲慢さというものを含みますので、“傲慢さを含まない誇り”というふうに理解をしています。そして今回、渡邊会長がモットーとして挙げていただいた、『穏やかで、楽しく、明るい例会』。これを尊重した上で、人のためになる奉仕活動、そういったものが展開していければと思っています。

私の出席向上委員会ですが、この出席というのにも意味があるようです。出席というと、あの例会のみの限られた印象を持ってしまうのですが、出席というのはもう少し範囲が広く、多くのロータリーのイベント、そして奉仕活動も含んだ出席という形になりますので、例会というのはあくまでも入り口でございます。様々なロータリークラブのイベント、奉仕活動に関しまして、皆様のご協力をいただいて、積極的な参加をいただければと思っています。

日々ではない月に3回の例会も、出席するたびに何かを持ち帰っていかなければならないとも思っています。そのためには、持ち帰る内容、意味の持った例会というのを、これは会長幹事のみが作るものではございません。皆で作っていくものですので、そういった点にも注力していければなというふうに思っております。

そして、米山記念奨学会です。今回、機会に恵まれず、奨学生をお迎えすることはできなかったという現実がありますが、これも私なりに紐解いてきました。

ロータリーの年に1回ある大会に出ると、奨学生の皆さんはご自身の意見、主張、プレゼンテーションを行います。拝聴していて本当に素晴らしいです。エリートです。自身の息子、娘と比べると、こんな方たちもいるんだと思うほど非常に視野が広い。当然、こういったステージに上がってくるだけの教育を受けているのだということを私も学びました。

本年度の米山記念奨学会の活動計画を「年度計画書」に記しましたので、後ほど読んでおいてほし

いのですが…。選ばれた奨学生は、『学業を通じた知識の習得』、これは当然だと思います。そして、『ロータリークラブとの出会いから人間性を研磨する』という表現をいたしました。私はこの研磨という言葉が非常に好きでして、『研磨する』これには助言がございます。先ほどエリートという言葉を使いましたが、エリートに限らず研磨される側というのは、きちっとした芯がないといけません。芯というのは軸ですね。軸、そして新、心です。この2つを持った方たちが研磨される権利を持っていると考えます。

そして奨学生を受け入れるのは次年度になるかもしれませんが、私たちは研磨をするわけですから、それ以上に強く、しなやかなものでなければいけないと思っています。研磨が柔らかすぎても良くないですし、硬すぎても良くない。ただし、研磨される学生よりも強いものでないと、研磨されてしまいます。

本年度、もし学生の受け入れを行っていた場合、果たして自身はこういった学生を研磨できたかどうかというのは、自分でも少々自問自答しなければと考えております。

次年度、次々年度に、学生の受け入れというものが叶うのであれば、当クラブにおいて大きなインパクトを与えられるのではないかと考えておりますので、皆様のご協力をいただいて、少しでも良いクラブになっていければと思っています。

ニコニコボツグム

副SAA 田端都女子

- | | |
|------|---|
| 渡邊会員 | 昨日より急に蒸し暑くなりましたので、皆様、体調には是非ともお気をつけ下さい。また、2回目のクラブ協議会に出席頂きありがとうございます。各委員長の皆様、就任の挨拶をどうぞ宜しくお願い致します。 |
| 小林会員 | 暑くなりました。この時期電車を使うものにとって、暑いところから冷房で寒い電車にのり、また暑い外にでるとというのは、ホント苦痛です。体調をくずすことなく夏をのり切れるよう心がけます。 |
| 江原会員 | 昨日から急に暑くなり、身体がその暑さに対応出来ずに困っています。皆様御自愛下さい。 |
| 寶積会員 | 2025年度江原会長・小島幹事、本当におつかれ様でした。2026年度渡邊会長・小林幹事、インパクト |

有る年に皆でしていきましょう。
私事で1ヵ月半程度の欠席、御迷惑をおかけして大変申し訳ございませんでした。

稲見会員 妻の誕生日祝ありがとうございます。
私事で1ヵ月半程度の欠席、御迷惑をおかけして大変申し訳ございませんでした。

沼崎会員 前回の例会は渡邊年度第一回なのに、体調不良で欠席しました。
申し訳ありません。ドート言うことは有りません。大丈夫です。本年一年、新しい役目ががんばります。

田端会員 暑さが厳しくなって参りました。
お互いにお体を大切に致したく感じております。

例会・理事会予定

7 月 24 日(金)	例会取り止め
8 月 7 日(金)	通常例会 第 2 副 SAA: 柴田会員 清水(武)会員 外来卓話: 松本明美様 例会後定例理事会
8 月 14 日(金)	例会取り止め



稲荷山公園北側斜面緑地の自生ヤマユリ（2026 年 7 月中旬）